

IV 教育振興基本計画の6つの施策の柱に基づく主な事業

- ◆教育目標である「未来を拓く(ひらく) たくましい『やまぐちっ子』の育成」に向けて、重点施策に掲げた5つの取組に加え、教育振興基本計画に掲げた6つの施策の柱に沿った事業を総合的・計画的に推進します。

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

学習指導要領の趣旨を踏まえた確かな学力の育成を図るとともに、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期である乳幼児期の教育など、子どもたちが多様な人々と協働して力強く生きていくための基礎となる力を育みます。

また、豊かな心を育むため、人権教育を推進するとともに、体力の向上などにより、健やかな体を育成します。

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

グローバルな視点で活躍し、イノベーションを担う人材の育成に資する英語教育や理数教育の充実を図りながら、未来を切り拓いていくために必要な新たな価値を生み出す創造性と多様な他者と協働して行動できる人材を育みます。

3 誰一人取り残されることのない教育の推進

障害や、いじめ、不登校等の困難を有する児童生徒の多様なニーズに対応した教育を推進します。

4 学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進

本県教育の基盤であるコミュニティ・スクールを核として、学校・家庭・地域が連携・協働し、社会総がかりによる子どもたちの学びや育ちを支える取組の充実を図ります。

5 生涯を通じた学びの充実

県民のニーズに応える学習機会を提供し、人生100年時代を見据えた社会教育の推進を図るとともに、文化・芸術に親しむ環境の整備や、スポーツを楽しみ、競技力向上に向けた施策を展開します。

6 豊かな学びを支える教育環境の充実

学校における働き方改革の推進や、教員の確保と教職員の育成に取り組むとともに、特色ある学校づくりなどにより、持続可能な教育体制と質の高い学校教育を推進します。また、学校施設の老朽化対策や防災対策など、学校の安心・安全対策を進めます。

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

学びに向かうやまぐちっ子育成事業

7,279千円

全ての子どもたちの可能性を引き出すために、特定の学力課題の克服や学習習慣の確立などの課題解決を図るとともに、学習指導要領で求められる資質・能力を本県の子どもたちに確実に身に付けさせ、子どもたちの自己実現を支援します。

■ 学力PDCAサイクル事業

- 山口県学力定着状況確認問題の作成及びC B Tによる実施

[実施時期] 10月中旬

[対象学年(実施教科)] 小学校 第5・6学年(国語、算数)

中学校 第1学年(国語、数学)

中学校 第2学年(国語、数学、英語)

- 学力分析支援ツールの提供と活用促進 等

■ 授業力向上事業

- キャリアステージに応じた研修会の実施
 - ・ 管理職リーダーシップアップ研修
 - ・ ミドルリーダーレベルアップ研修
- 授業力向上実践研究の推進(指定校:県内7校)



【ミドルリーダーレベルアップ研修】

やまぐちの未来を創る!フロントランナー育成事業

12,943千円

地域医療の充実や地域課題の解決等に向け、高い志をもった高校生に最先端の研究の動向を踏まえたオンライン講座、ICTを活用して取り組むハイレベル課外授業等を実施し、高校生が学校の枠を越えて切磋琢磨する機会を創出します。

■ メディカル・フロントランナー育成コース

- 地域医療を担う人材の育成に向け、医学部を志望する高校生の意欲と学力の向上
- 医師等による地域医療をテーマとした講義・演習の実施

■ アドバンスト・フロントランナー育成コース

- 本県の課題解決に取り組み、将来を担う人材の育成に向け、選抜性の高い大学を志望する高校生の意欲と学力の向上
- 有識者による地域課題の解決や未来社会の創造をテーマとした講義・演習の実施

■ ドリカムゼミ(両コース共通)

- 大学進学に必要な高いレベルの知識習得を図るハイレベル課外授業の実施

メディカル・フロントランナー育成コース (医学部医学科志望者対象) 県立高校生60名程度	アドバンスト・フロントランナー育成コース (選抜性の高い大学志望者対象) 県立高校生60名程度
地域医療探究セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・ 医学部教授、医師等による地域医療についての講義・演習 ※ 山口大学医学部と連携 	未来社会創造セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・ 有識者等による地域課題の解決や未来社会の創造をテーマとした講義・演習
先端研究体験プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・ 東大先端研から講師等を招いて実施するプログラム 	オンライン プラス アウトリーチ <ul style="list-style-type: none"> ・ 東大先端研等を訪問し、研究者、大学生と交流
ドリカムゼミ(共通) <ul style="list-style-type: none"> ・ 対面講座とオンライン講座を組み合わせたハイレベル課外授業 	



「ガイダンスの充実」と「マッチングの促進」に重点を置き、入学後の早い段階から生徒に寄り添った伴走型の就職支援を行うことで、高校生の主体的な県内就職・県内定住を促進します。

■ 高校生キャリアデザイン支援事業

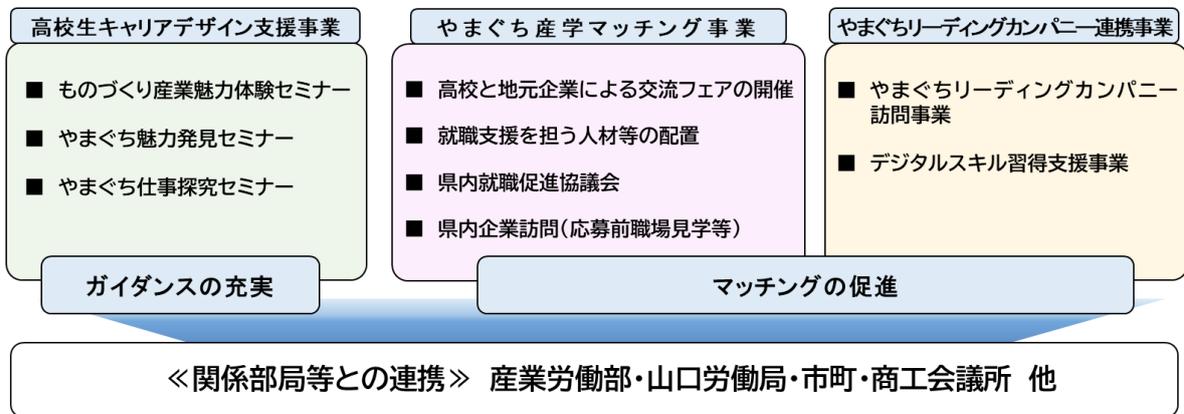
- 県内産業や山口県の魅力の理解促進、県内就職・県内定住に向けた意識の醸成
 - ・ 県内企業の技術者等による、ものづくりの仕組みや企業がもつ優れた技術についての講義及び演習の実施
 - ・ ライフプランニングや社会人として求められる資質等について考えるワークショップの開催
 - ・ 就業への円滑な移行を図るための労働法制等に関するガイダンスの開催

■ やまぐち産学マッチング事業

- 生徒の適切な職業選択と県内中小企業とのマッチングを促進
 - ・ 高校が立地する地元の中小企業を学校に招聘し、高校生と企業の採用担当者等が直接交流する機会を創出
 - ・ 就職支援を担う人材等を配置し、1年時から、キャリアデザイン及び就職に向けた個別相談・マッチングまでを生徒の希望・適性に沿って伴走支援

■ やまぐちリーディングカンパニー連携事業

- DXを推進している企業や各産業分野で主導的な地位にある企業と連携した企業見学・実習を推進
 - ・ DXに関する取組や働き方改革を推進している企業への訪問等の実施
 - ・ 産業界のDXの進展に伴い必要となる知識・技術の習得に向けた講習会の開催及び企業や学校の施設・設備を活用した実習の実施



就職を希望する生徒の進路実現
(生徒の主体的な県内就職・県内定住の促進)



【ものづくり産業魅力体験セミナー】



【新社会人スタートアップ研修】

乳幼児期からの読書活動応援事業

2,795 千円

県内の幼稚園・保育所等の読書環境整備や読み聞かせへの意識醸成を通じて、乳幼児期からの読書習慣を形成し、子どもたちの不読率の低減を図ります。

■ 「絵本の配達便」の実施

- 山口図書館司書が選書した、読み聞かせに適した良質な絵本セットの貸出しを実施

[対 象] 幼稚園、保育所等

[内 容] 長く親しまれてきた絵本に加え、新刊絵本や大型絵本のセットを60日以内で貸出



■ 読み聞かせ活性化のための研修会・セミナーの開催

- 本や活字に触れることの重要性を学ぶ研修会を県内3か所で開催

[対 象] 幼稚園教諭、保育士等

- 各家庭での読み聞かせを実践的に学べるセミナーを開催

[対 象] 乳幼児等とその保護者、

読書活動の推進に携わっておられる方



■ 寄贈絵本を活用した読書環境の整備

- 幼稚園・保育所等の蔵書不足への対応のため、広く県民や企業等に読み聞かせに向く絵本等の寄贈を募集し、読書環境の整備を促進

乳幼児の育ちと学び支援事業

26,985 千円

「山口県乳幼児の育ちと学び支援センター」を拠点として、幼児教育・保育施設に対し、国公立や施設類型の区別なく研修等の機会や情報を提供して、幼児教育・保育の質の向上を図ります。

■ 保育士・幼稚園教諭・保育教諭に対する研修

- 現場のニーズ等に対応した研修の充実

■ 市町や幼児教育・保育施設に対する助言

- アドバイザー等による訪問支援の拡充
- 次世代のアドバイザーの育成（プレアドバイザー）

■ 乳幼児期の教育及び保育に関する情報提供・啓発

- 幼児教育・保育施設、保護者等への情報発信

■ 保幼小連携の推進

- 「はじめのいっぽ もういっぽ」の活用・成果検証
- 架け橋期のコーディネーターの派遣



【市町保幼小連携担当者研修会】

山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

乳幼児期の教育及び保育に関する保育者への研修や幼児教育・保育施設に対する助言・情報提供等の施策を総合的に実施する拠点



子どもの体力向上・運動習慣の定着、改善を図るため、プロスポーツチーム、民間企業等のリソースを活用し、学校や保護者、地域住民と一体となって、運動への興味・関心や運動の重要性に関する意識啓発の取組を推進します。

■ 子どもの望ましい運動習慣の定着促進

[対 象] 県内公立小・中学校

[内 容]

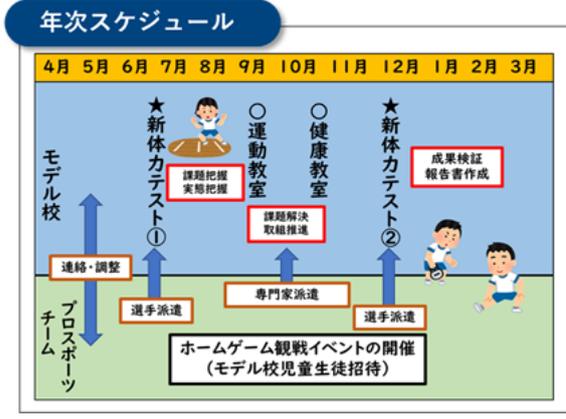
- 運動習慣の普及のための出前授業の実施
- プロ選手出演の運動動画の普及、活用を図り、児童生徒の運動機会を創出

■ プロスポーツ選手や専門家派遣による新体力テスト等の実施

[対 象] 県内公立小・中学校のモデル校 (19校)

[内 容]

- 県内小・中学校が実施する新体力テストにプロスポーツチームの選手を派遣
 - ・ プロスポーツ選手から体の動かし方を学び、運動に意欲的に取り組む意識を啓発
 - ・ 保護者や地域住民と一体となった取組を行うことでスポーツに取り組もうとする機運の醸成を図り児童生徒の運動習慣を改善
- 専門家派遣による体育授業等の充実・促進
 - ・ 専門家による学校毎の運動メニューの作成及び実践
 - ・ 心身の健全な育成に向けた、食育等の健康教室を開催
 - ・ モデル校での取組をマニュアル化し、県内各小・中学校で活用
- プロスポーツチームのホームゲーム観戦イベントを開催 (児童生徒、保護者を招待)
 - ・ 運動やスポーツを見る、支える、知る楽しさを体感し、運動やスポーツへの関心、意欲を向上



《重点施策 (再掲)》

(単位：千円)

	事業名	事業費	再掲項
新	学校マネジメント力強化推進事業	5,880	4
拡	生成AIを活用した家庭と学校の好循環創出事業	46,532	10
	やまぐち高大パートナーシップ強化事業	3,224	5

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

やまぐち発！グローバル・リーダー育成事業

15,732千円

海外留学に向けた機運の醸成や、海外留学する高校生への支援とともに、世界トップレベルの大学と連携した講義の実施により、将来の山口県を担う、グローバル・リーダーを育成します。

■ スタンフォード e-Yamaguchi プログラム

- スタンフォード大学と連携したオンラインプログラムの実施

現代的な諸課題をテーマとして、スタンフォード大学教員のファシリテートを受けながら、オールイングリッシュによるオンラインの講義・ディスカッション・プレゼンテーションを実施

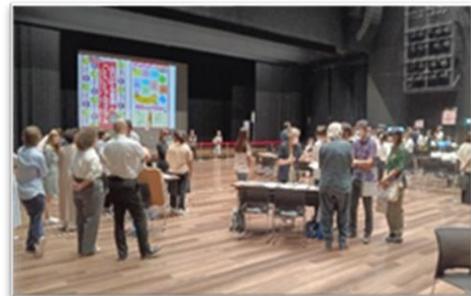
[対 象] 県内の高校生 30名
[時 期] 10月から2月 (全12回)
[内 容] 現代的な諸課題についてのテーマ別講義・ディスカッション等



■ 短期留学プログラム

- 短期留学プログラムの実施及び参加生徒への留学経費補助 (一人6万円)

[対 象] 県内の高校生 20名
[派遣先] オーストラリア (夏期約2週間)



■ 山口から世界へ GoGo プログラム

- 留学フェアを開催し、留学機運を醸成

[対 象] 県内の中・高校生
[内 容] 9月中旬実施予定。講演、留学体験発表、留学相談コーナー等

東部地域グローバル人材育成事業

106,551千円

「地域に住む外国人や海外との交流を通じた地域活性化に関する教育活動」を実施することにより、地球規模・国際的 (グローバル) な視点や経験を生かして、自分たちの地域 (ローカル) 社会に貢献する活動を行う人材を育成します。

- グローカル人材に必要とされる「語学力・コミュニケーション力」「多様性や多文化共生を理解する力」「自ら考え、物おじせず行動する力」及び「地域で活躍し、自らが地域を変えていく力」の総合的な育成をめざして、5つのプログラムを実施

[内 容] (1) 語学力育成プログラム (オンライン英会話)
(2) グローバル探究プログラム (海外研修)
(3) 国際交流体験プログラム (外国人との交流等)
(4) ローカル探究プログラム (地域探究)
(5) グローカル・ラボ (人材育成へとつなげる研修)



専門高校において、脱炭素化に取り組む県内企業と連携した教育活動を展開し、カーボンニュートラルの実現を担う人材の育成を図ります。

■ カーボンニュートラルの実現に向けた企業と連携した教育活動の実施

○ 専門高校とカーボンニュートラルの実現に向けて先進的に取り組む企業が連携し、学科の専門性に応じた研修や現場見学、現場実習等の教育活動を実施

[対 象] 県立高校（専門学科）

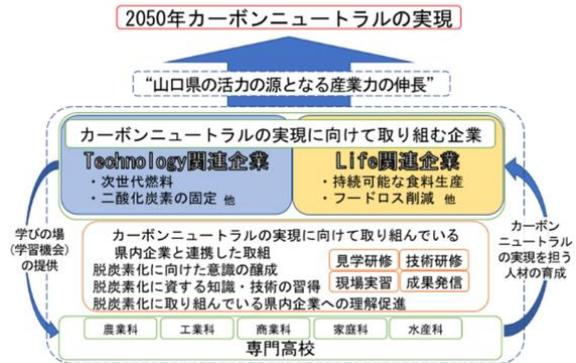
[内 容]

《Technology 関連企業との連携》

- ・ 高度で専門的な知識・技術への理解を深めるため、脱炭素化に関する先進的な技術を有する企業において、研修や企業見学等を実施
- ・ 産業現場において、技術研修や実習を実施

《Life 関連企業との連携》

- ・ 専門分野を越えた幅広い知識・技術を身に付けるため、カーボンニュートラルに幅広く取り組む企業において、研修や企業見学等を実施
- ・ 企業や他校・他学科と連携した教科横断的な取組の実施



【外部講師による講義】



【現場見学】



【現場実習】

《重点施策（再掲）》

(単位：千円)

事業名	事業費	再掲項
新 高校段階における1人1台端末整備のBYAD化	債務負担行為	8
山口県公立学校情報機器整備基金積立金 (R6 補正)	1,506,202	8
やまぐちスマートスクール構想推進事業	2,441,810	9
新 教育DX推進に向けた県立学校ネットワーク高速化事業	23,869	10
次世代の教育環境デジタル化推進事業	17,590	11
DXハイスクール推進事業	158,000	11
新 DXで未来を創る！やまぐち探究レベルアップ事業	10,000	4
やまぐち燦めきサイエンス事業	6,333	5

3 誰一人取り残されることのない教育の推進

インクルーシブ教育システム推進事業

9,667千円

障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システムの充実に向けて、特別支援教育に係る体制整備を推進します。

■ 外部専門家の活用

- 障害が重度の児童生徒が在籍する学校への専門家派遣

■ 管理職等の専門性向上のための体制構築事業

- 小・中・高等学校等において、管理職を含めた全ての教員が発達障害を含む特別支援教育を取り組んでいくための体制構築等に関する研修を実施

■ 就職支援コーディネーターの配置

- 高等部生徒の卒業後の自立や社会参加を促進するため、コーディネーターを県立特別支援学校4校に配置し、現場実習先の確保や就職支援を実施



【新任管理職研修会】



【外部専門家の活用】

日本語教育支援体制整備事業

18,435千円

日本語指導が必要な児童生徒が、適切な指導・支援の下で将来への現実的な展望がもてるようにするため、遠隔・オンラインによる日本語指導等の充実を図るとともに、日本語指導補助者・支援員等による継続的な支援を行い、切れ目ない日本語教育を推進します。

■ NPO法人との遠隔・オンライン日本語指導の実施

- 日本語指導が必要な児童生徒を対象に、遠隔日本語教育に知見を有する民間団体によるオンライン日本語指導を実施
- 対象児童生徒は、1人1台タブレット端末を活用して、日本語レベルに適した双方向のオンライン日本語指導や学習支援講座を集中的に受講



【NPO法人】



【オンライン】



【学校】



【実際の授業の様子】

■ 指導補助者・支援員等による日本語教育サポートの補助

- 日本語指導が必要な児童生徒が、在籍学級において一斉指導を受ける中で、各市町が配置する日本語指導補助者や支援員等が、日本語指導が必要な児童生徒のそばに付き添って学習を支援し、教科学習に必要な日本語能力の向上を図る取組を補助

県立高等学校再編に係る遠距離通学支援事業

32,307 千円

県立高等学校の再編整備により、居住地域に県立高校がなくなることに伴い、予期せぬ進路変更により遠距離通学が必要となった生徒に対して、一定の期間、通学費の支援を行います。

■ 遠距離通学支援制度

- [対象者] 県立高校の再編整備により、平成の合併前の市町村単位で高校がなくなった地域に居住し、県内の高等学校（私立高校含む）に通学する生徒
- [対象経費] 公共交通機関等により通学に要する経費の7千円／月を超える額
(上限額1万円／月)
- [対象期間] 募集停止後5年の期間内

県立学校給食費に係る物価高騰差額補助事業

18,021 千円

県立学校において、これまでどおりの栄養バランスや量を保った学校給食が実施されるよう、物価高騰に伴う学校給食費の高騰に対応するため、保護者負担の軽減を目的とした支援を実施します。

■ 県立学校の学校給食費の高騰に対する支援

- 令和3年度末から令和7年度末までに給食費の引上げの必要性が生じた場合に、保護者負担額が軽減されるよう、支援を実施

[対象学校] 学校給食を実施している県立学校

県立中学校、県立中等教育学校（前期課程）、
定時制課程夜間部を置く県立高等学校、県立特別支援学校



国公立高校生奨学給付金事業

326,471 千円

授業料以外の教育費負担の軽減を図り、生徒が安心して教育を受けられる環境を整備するため、低所得世帯等の生徒に対して奨学のための給付金を支給します。

■ 高校生等奨学給付金

- [対象者] ○道府県民税・市町村民税所得割額非課税世帯で国公立の高等学校（専攻科含む）、中等教育学校（後期課程）、高等専門学校（1～3学年）に在学する生徒
○年収約270万円以上約380万円未満の世帯または年収約380万円以上約600万円未満の多子世帯で国公立の高等学校（専攻科）に在学する生徒
- [対象経費] 授業料以外の教育に必要な経費（教科書費等）
- [給付年額] 《負担割合》国 1/3 県 2/3

世帯区分		支給額
生活保護		32,300 円 (通信制：32,300 円 専攻科：50,500 円)
非課税	第1子	131,500 円 (通信制：50,500 円 専攻科：50,500 円)
	第2子 (15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹がいる世帯)	143,700 円 (通信制：50,500 円 専攻科：50,500 円)
年収約270～380万円未満の世帯		10,100 円 (専攻科)
年収約380～600万円未満の多子世帯		

公立高等学校等就学支援事業

2,061,004 千円

公立高等学校等における教育に係る経済的負担の軽減を適正に行うため、国の制度に沿って一定の所得制限等を設けた上で、授業料相当額として就学支援金等を支給します。

■ 高等学校等就学支援金

[対象者] 年収約910万円未満の世帯で公立の高等学校、中等教育学校（後期課程）に在学する生徒

[支給額] 全日制：9,900円/月、定時制：900円/月、通信制：100円/単位

■ 専攻科修学支援事業

[対象者] 年収約380万円未満の世帯または多子世帯で公立の高等学校（専攻科）に在学する生徒

[支給額] 年収約270万円未満の世帯 9,900円/月

年収約270～380万円未満の世帯 4,950円/月

多子世帯 ※所得制限なし 9,900円/月

就学奨励費

229,610 千円

特別支援学校に通う児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、国の制度に沿って、就学のために必要な経費を支給します。

[対象者] 特別支援学校に在籍する児童生徒の保護者等

[対象経費] 特別支援学校の就学に必要な経費

[主な支給内容等]

《負担割合》国 1/2 県 1/2

経費区分	支弁区分	支給額	経費区分	支弁区分	支給額
学校給食費	I	実費	修学旅行費 (本人経費) ※上限あり	I	実費
	II	実費の1/2		II	実費の1/2
	III	—		III	—
交通費 (本人経費)	I	実費	学用品購入費 ※上限あり	I	実費
	II	実費		II	実費の1/2
	III	実費		III	—

《重点施策（再掲）》

(単位：千円)

事業名	事業費	再掲項
新 誰一人取り残されないいじめ不登校対策事業	228,735	6
拡 不登校対策のためのステップアップルームの取組強化	給与費	7
新 スクールロイヤーによる支援体制の強化	4,139	7
中学校及び高校0年生からの教育相談事業	34,038	7

4 学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進

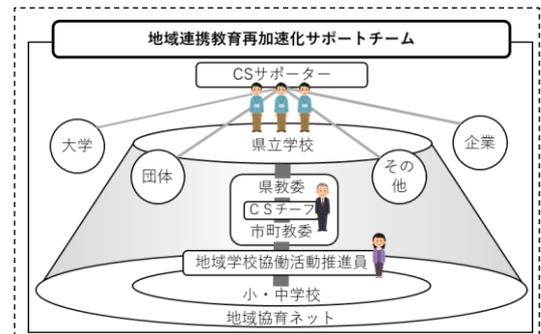
地域連携教育再加速化事業

65,046 千円

地域・社会との新たな協働体制を構築するとともに、子どもが主体となって地域の人と人をつなぐことを通じて、山口県の地域連携教育を再加速化し、子どもたちの地域の大人とのつながりや、ふるさとへの誇りと愛着を創出します。

■ 地域連携教育再加速化サポートチーム

- 県立学校にCSサポーターを、小・中学校に地域学校協働活動推進員を配置するとともに、両者を統括するCSチーフを各地域に配置し、地域ごとに「地域連携教育再加速化サポートチーム」を設置することで、全県一体的なコーディネートを実施



■ 子どもが地域の先生プロジェクト

- 子どもが主体となって、地域の人と人をつなげ、子どもも大人も学び合う活動を実施

[対象モデル中学校区] 7地区 × 1中学校区

[内容] ICT安全利用教室、地域の防災教室、公民館等と連携した講座等における講師、校種間連携による学びの質の向上 等

■ 総合支援学校コミュニティ・スクール強化事業

- 障害のある全ての幼児児童生徒が、地域社会と関わる实际的・実践的な体験活動を実施

[対象] 総合支援学校

[内容] ・ 教育課程と関連付けた「ものづくり」「サービス」「スポーツ」等の体験活動の実施
・ 総合支援学校間の連携を強化し、取組を全県展開

■ やまぐち型社会連携教育推進事業

- 県立高校等において、社会と連携・協働した「総合的な探究の時間」を実施

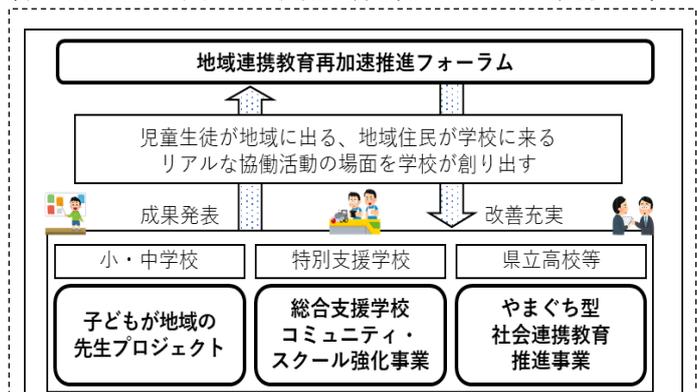
[対象] 県立高校等

[内容] ・ 社会と連携・協働した「総合的な探究の時間」のカリキュラム開発
・ リアルな体験を通じた多様な他者との「協働的な学び」の実施



■ 地域連携教育再加速フォーラム

- 県立学校及び小・中学校での地域連携教育の再加速に向けた取組の成果についての発表や、小・中・高校生等と地域・社会の大人との交流を通じて、人と人とのつながりの拡大と、各校の取組成果の全県的な普及を促進



学校・家庭・地域が連携・協働し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り、支援する本県ならではの地域連携教育の一層の充実に向けた取組を推進します。

■ 全県的な推進体制の強化

- 山口県地域連携教育推進協議会の開催

各学校・地域において質の高い取組が行われるよう、県施策の充実や改善について協議

[委員構成] 学識経験者、市町教育長代表、幼児教育・保育関係団体、社会教育関係団体代表 等

■ 推進の核となる人材の養成

- 地域協育ネットコーディネーター・家庭教育アドバイザー養成講座及びステップアップ講座の開催

■ 研修の充実

- 地域連携教育管理職研修会の開催
- 地域連携教育関係者を対象にした研修会の開催
- 不登校対応等に取り組む家庭教育支援チーム研修会の開催

■ 活動充実に向けた普及啓発

- 地域連携教育に係るリーフレット等の作成・配布及び取組事例の紹介資料の作成・周知
- 地域連携教育広報番組「はつらつ山口っ子」制作・放映（第3日曜日「家庭の日」放映）

■ 地域学校協働活動の充実

- 地域協育ネット等の取組・放課後子ども教室・地域未来塾の充実【実施主体：市町】
- 地域学校協働活動推進員の活動充実【実施主体：県・市町】
- 家庭教育支援の充実【実施主体：県・市町】

[実施内容] ・保護者への学習機会の提供や親子参加型行事の実施、情報提供や相談対応等の支援活動を実施することにより、全ての保護者が安心して家庭教育を行えるよう支援を充実
 ・「やまぐち家庭教育支援チーム」の設置促進

やまぐち部活動改革推進事業

少子化の中でも将来にわたり、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会確保をめざし、公立中学校等における休日の部活動の地域連携や地域移行に向けた部活動改革を推進します。

■ 説明会・協議会の開催

- 学校・保護者・関係団体等を対象とした部活動の地域移行に係る説明会の実施
- 県における部活動改革に向けた関係者からなる協議会の開催

■ 部活動指導員の配置

- 学校部活動の地域移行に向けた人材確保に向け、部活動の技術的な指導や大会への引率等を行う部活動指導員の公立中学校への配置（139人）

5 生涯を通じた学びの充実

新 「山陽新幹線 50 年展」 開催費

22,559 千円

県立山口博物館において、山陽新幹線の全線開通 50 年を記念し、京都鉄道博物館との共催により、新幹線の歴史と特長をゆかりの資料でたどる特別展を開催します。

■ **開催期間** 令和 7 年 7 月 18 日（金）～8 月 31 日（日）[会期：36 日間]

- **展示構成**
- 1 新幹線、伸びる！
 - 2 新幹線、走る！
 - 3 新幹線、楽しむ！
 - 4 新幹線とやまぐち
 - 5 新幹線を体験しよう！



《みどころ》

- ・京都鉄道博物館が所有する、開業から現在までのあゆみを物語る貴重な資料を一挙公開！
- ・初代 0 系新幹線から N700 系新幹線までの特長を紹介！
- ・新幹線ジオラマ操作体験や、車内販売などの新幹線に関するお仕事体験会！

■ **県内関連施設等との連携** スタンプラリー、ものづくり企業のお仕事体験コーナー等

地域と連携したリアルな体験活動充実事業

6,216 千円

学校や地域、企業、団体等と連携した、山口県の豊かな自然を生かしたリアルな体験活動を普及させることを通じて、多様な他者との協働的な学びを提供するとともに、子どもたちの非認知能力（自己肯定感、自律性、協調性、積極性等）の向上を図ります。

■ 山口まるごと体験フィールド化プランの推進

- 豊かな自然や多様な主体との連携を活用した 小・中学生対象の長期自然体験活動及び体験エコツアー（高校生・大学生が企画し、地域団体や企業等の連携・協働によって具現化）等の実施
- デジタルを活用した県内体験活動情報の集約と周知



プログラム	期間	対象	備考
やまぐちアドベンチャーキャンプ	7泊8日	小・中学生 32人	世界的な冒険教育機関である OBS (Outward Bound School) の手法を取り入れた長期自然体験活動（いじめや不登校等悩みを抱える児童生徒を優先）
しまキャン	1泊2日	小・中学生 16人	マリンアクティビティや環境保全活動を通じて、地域の自然について学ぶ自然体験プログラム
魅力発見エコツアー	2泊3日	小・中学生 16人	地域の歴史や文化、産業等について体験しながら学ぶ社会体験プログラム

■ 県内各地の体験活動充実に資する指導者養成

- やまぐちアドベンチャーキャンプ指導者研修会…野外活動とカウンセリングを組み合わせた OBS 手法を活用した長期の自然体験研修（8泊9日）
- AFPY の手法を学ぶ研修会…人間関係づくり等に係る段階的な研修（年3回）
- 体験活動ボランティア養成研修会…県内 5 つの自然の家の特色を生かした体験プログラムを活用した研修会（高校・大学生対象）

市町人権教育推進事業費補助事業

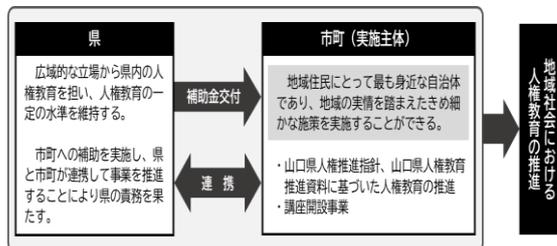
2,640千円

人権教育に関わる学習機会の確保、充実に努めるため、市町で実施する人権教育に係る事業を支援し、「県民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会」の実現に向けた取組を推進します。

■ 人権教育を推進するための講座開設事業への補助

[対 象] 市町

- [内 容]
- 広く地域住民を対象とした研修
 - 市町内を巡回して行う研修
 - 体験・交流活動等を主とした研修
 - 指導者を養成するための研修



全国高等学校総合文化祭開催準備経費

15,039千円

令和10年度に山口県での開催が内定している「第52回全国高等学校総合文化祭」の開催に向けて、関係団体と連携して準備を推進します。

■ 事業内容

- 開催準備委員会、生徒準備委員会の設置・運営
- 各開催部門の活動強化支援の実施
- 大会シンボルマーク等の公募やPRイベントの開催

■ 大会概要

- 会 期 令和10年7月下旬～8月上旬(予定)
- 会 場 山口県内各会場
- 開会行事 総合開会式、パレード
- 開催部門 規定19部門、協賛部門

新 令和7年度全国高等学校総合体育大会開催費

232,728千円

広島県を主会場に中国ブロックで開催される令和7年度全国高等学校総合体育大会に向けて、本県開催競技の会場地への運営経費の補助等により円滑な大会運営を実施します。

■ 事業内容

- 会場地市への大会開催運営経費の補助
 - ・ 各会場地市実行委員会に対して、競技種目別大会の大会開催運営経費を補助
- 山口県高校生活動推進委員会による活動
 - ・ 大会運営を「ささえる」立場から関わることを目的に県内高校生で構成される「山口県高校生活動推進委員会」を中心に広報活動等を実施

■ 大会概要

- 開催期間 令和7年7月23日(水)～8月20日(水)
- 総合開会式 令和7年7月24日(木)(広島市)
- 開催競技 30競技(34種目)
- 山口県の開催競技(種目)及び会場地市
 - ・ 体操(新体操): 下関市
 - ・ 水泳(水球): 山口市
 - ・ ソフトテニス: 宇部市
 - ・ バドミントン: 防府市、山口市



- ・ 卓球: 下関市
- ・ アーチェリー: 岩国市

6 豊かな学びを支える教育環境の充実

学校安全総合推進事業

4,824千円

「第3次山口県学校安全推進計画」を踏まえ、学校安全の取組を総合的かつ効果的に推進していくため、「防犯を含む生活安全」「交通安全」「災害安全(防災)」の3領域において、学校・家庭・地域・関係機関が一体となった学校安全の取組等を実施します。

■ 第3次山口県学校安全推進計画に基づく取組の推進

各学校における安全確保に向けた取組状況の再検証及び、地域の実情に応じた実効性のある取組の在り方についての研修の実施

○ 地域別学校安全推進研修会

[対象] 公・私立学校管理職・教職員、市町教委、学校運営協議会関係者等

[実施内容] 各地域で特色ある取組を実践している学校の発表、学校安全計画・危機管理マニュアルなど学校安全に関する協議 等

■ 地域ぐるみの学校防災総合推進事業

大規模災害の発生に備え、学校が家庭・地域・関係機関との連携を強化するとともに、災害発生時に児童生徒が自らの安全確保と他の人々や地域の安全に貢献する力を育成

- コミュニティ・スクール等の連携・協働体制を生かした、地域ぐるみの防災キャンプ
- 能登半島地震等の災害ボランティア活動講演会
- 専門家等と連携した出前授業や学校防災アドバイザーの派遣

■ 子どもたちの安心安全総合推進事業

コミュニティ・スクール等の連携・協働体制を生かした、学校・家庭・地域が連携した防犯を含む生活安全や交通安全の取組の実施

[対象] 児童生徒、保護者、教職員、地域住民等

[実施内容] 学校運営協議会等と連携した通学路の安全点検・安全マップづくり、学校安全アドバイザーの派遣、防犯・学校事故対応に係る研修会の実施 等

《重点施策(再掲)》

(単位：千円)

事業名	事業費	再掲項
新 県立学校施設等の照明LED化関連事業	3,525,234	14
新 県立学校施設等の照明トイレ洋式化(総務部一括計上)	372,000	14
県立学校施設整備事業	3,966,415	15
新 公立高校入学者選抜WEB出願システム導入事業	43,338	12
統合型校務支援システム管理運営費	64,431	12
拡 教員業務支援員の配置	141,835	13
拡 教職員採用等選考実施費	23,453	13
人づくりを支える教師確保推進事業	12,738	13